

<u>CLASSE:</u>	文学講読 プルーストを読む LePS-61
<u>Jour:</u>	土曜日
<u>Horaire:</u>	13:30-15:20
<u>Niveau:</u>	B1
<u>M./Mme:</u>	M. Satoshi FUKUYAMA
<u>Objectifs:</u>	フランス20世紀文学の最高峰に位置するプルーストの作品を、じっくり読み解いていきたいと思えます。 作品の全体に配慮しながら、全部を読み上げること为目标にしています。
<u>Descriptif:</u>	<p>第2巻『花咲く乙女たちのかげに』の第1部「スワン夫人をめぐる」を継続して読みます。</p> <p>とうとう語り手の「わたし」はスワン家に出入りするようになり交流がはじまります。憧れの的だったスワン夫人とその一家とのブローニュの森の散歩、サロンらしい活発な(ただし表層的な)芸術談義、等々、語り手「わたし」の気持ちの高まりがストレートに語られて珍しく? 明るい雰囲気堪能できる箇所にさしかかります。</p> <p>授業は日本語でおこないます。事前にお当てしておいた生徒さんに訳していただきながら、みなさんとともにあれこれと考えていくスタイルをとっています。プルーストの思想と文章を形作ったさまざまな歴史的な背景、文化要素を抽出していくことにも意を用いています。</p> <p>こころざし高く『失われた時を求めて』にチャレンジしても、第1巻で挫折したというのは、もはやプルーストあるあるといってもよいでしょう。第2巻『花咲く乙女たちのかげに』の興味深い箇所にさしかかります。新規に参加するにはちょうどよいかもしれません。この未知のゾーンをいっしょに体験してみませんか? これを機にぜひご参加を、お待ちしております。</p>
<u>Matériel:</u>	Marcel Proust : <i>A la Recherche du temps perdu</i>, Gallimard, Pléiade (プリント配布)
<u>Remarques:</u>	